

特別養護老人ホームしらさぎの里

～すべての人に心あたたかい居場所をずっと～

介護職員の働きやすい職場環境づくり
厚生労働大臣表彰奨励賞（令和7年度受賞）



法人名：社会福祉法人しらさぎ福祉会
施設名：特別養護老人ホームしらさぎの里

- ・ サービス種別：介護老人福祉施設
- ・ 所在地：兵庫県姫路市林田町山田351-3
- ・ 定員：60名
- ・ 職員数（事業所） 59名
常勤41名、非常勤18名

お問い合わせ先：TEL. 079（261）4088
e-mail：info@sirasagi.or.jp

取組のポイント

①職員の待遇改善に係る取組

幅広い世代がいきいき・ずっと働ける職場づくり
ワーク・ライフ・バランスを職場づくりの指標に
職員の心身を守るための環境と体制づくり

②生産性向上の取組

現場リーダーを中心とした視察研修・委員会活動
介護職員の働きやすさを意識した省力・効率化
“Give and take”で考える世代間の役割分担と連携

③人材育成に係る取組

次世代新体制を見据えた後継者育成とチームづくり
資格取得支援とキャリアパスでモチベーションUP
“Give and take”や思いやりを育む

取組詳細① 職員の待遇改善に係る取組

○取組の概要

定年制見直し・再雇用制度・退職金支給規程を整備
育児・介護と仕事の両立相談体制・制度を充実化
“Give and take”でWin-Winな職場づくりを基準に
健康診断とストレスチェック、健康相談体制の確保

○取組のポイント

幅広い世代がいきいき・ずっと働ける職場づくり
ワーク・ライフ・バランスを職場づくりの指標に
職員の心身を守ることを意識した環境・体制づくり



取組詳細② 生産性向上の取組

○取組の概要

見守りセンサーとインカムでチーム連携力UPに
生産性向上を目的としたリノベーション
若者と高年齢者のベストマッチな連携を実現

○取組のポイント

現場リーダーを中心とした視察研修・委員会活動
介護職員の働きやすさを意識した省力・効率化
“Give and take”で考える世代間の役割分担と連携



取組詳細③ 人材育成に係る取組

○取組の概要

キャリアパス制度に基づく個別・集団での人材育成資格取得に要する受講費補助、資格取得者への督励金支給制度などにより専門性向上を後押し。職員間や職種間での相互理解と相互協力を重視した職場風土を醸成。

○取組のポイント

次世代新体制を見据えた後継者育成とチームづくり資格取得支援とキャリアパスでモチベーションUP
“Give and take”や思いやりを育む



Episode

取組を始めたきっかけ

高年齢者からの相談をきっかけに・・・

高年齢者層の職員から「定年はいつまで?」「定年後に収入が減ると困る」との相談を耳にした総務部門職員から「制度を見直しては?」との提案を受けたことがはじまり。その後、定年・再雇用・子育て・介護の制度、高年齢者雇用などで制度改正が急躍進した。

取組を進めるにあたって苦労したこと

価値観や立場の違った職員間での共通理解が肝要

年齢、体力、家庭事情など、当然ながらすべての職員が違った境遇にあり、お互いを心から理解し合うためには意識改革が求められ、時間と労力を要しました。その積み重ねにより“Give and take”や思いやりの精神が根付き、今では職場が家族のように温かです。

取組の成果・効果

しらさぎ福祉社会が理想とした職場づくりが実現できた。

- 一つ目に、離職者が減り、キャリアアップも進んだ。
- 二つ目に、モチベーションUPにつながった。
- 三つ目に、人が足りない時間にも人がそろった。
- 四つ目に、介護職員の負担感が軽減した。
- 五つ目に、後継者の育成が進んだ。

職員の声

1. 職員の待遇改善に係る取組について
高齢でも雇ってもらえることはとてもありがたい。
学校行事や子の看護も休みが取りやすく助かります。
2. 生産性向上の取組について
インカムや見守りセンサーを導入して無駄な時間や
労力が減り、その分できることが増えました。
3. 人材育成に係る取組について
計画的に必要な学びが用意されるので助かります。

Message

施設長から、これから取り組まれる皆様へ

「人が居つく環境を何とか作りたい」という一心で。
さまざまな好循環がごほうび・・・

しらさぎ福祉社会が雇用制度の改正や処遇改善に取り組み始めてから12年ほどが経過しました。

雇用制度の改正に取り組んだ結果、価値観の違いはあれど、相互理解と相互協力の考えは浸透し、コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。

物価高騰や人件費の増大が常態化する中、人材確保や職場環境の改善を進めるためには、たくさんの財源と労力を要します。しかし、私がこの取組で学んだことは、「私たちが良くする努力を続ければ、職員の皆さんはそれに応えて下さる」ということです。人の心を動かす鍵は、環境や条件はもちろんのことですが、その過程があってこそその賜物なのではないでしょうか。

施設長 有末 将士